



ルワンダの治安事情

「でもルワンダって、ちよっと虐殺もあって危険そう。」そんな皆様へご安心ください。実はルワンダは、安全で有名な日本よりも安全なんです！2015年の一人当たり犯罪発生率はルワンダが東京の約10%！また、世界銀行の統計データに基づくランク付けでも、ルワンダはトップクラスの安全性を誇ります。近年では幹線道路も整備され、色んな農園にも1日で行くつも回れる便利さは、国が小さいことにも起因します。コーヒーツアーに来られる観光客やコーヒー関係者の方も増えて注目を集めています！

『アフリカの奇跡』と言われる国ルワンダからお届け
ルワンダコーヒー通信
Vol.3
アフリカ大陸中央に位置する小国ルワンダ。カップオブエクセレンスも開催され、今コーヒー界でも急成長して世界から注目を集めるルワンダコーヒーの魅力をお余すところ無くご紹介いたします。

ルワンダ精製法

ルワンダでは1904年からコーヒー生産が行なわれてきましたが、長い間ルワンダコーヒーは農家の庭先で皮を剥かれ、洗われ、干される方法で生産されてきました。2000年代に入り、ルワンダコーヒー業界に大きな変化が起きます。それはウォッシングステーションという加工場で豊富な水を使って加工する方法でした。ルワンダはアフリカの中央の高地に位置し、ナイル川やコンゴ川等の大河の源となる山々が広がっています。そこから湧き出る豊富な水を使ってコーヒーを作るようになったのです。それ以来、ルワンダコーヒーの評価は国際市場で高まり始め、2008年には国際的な品評会であるカップオブエクセレンスが開かれるま

コーヒーのたどる道

ルワンダで取れた美味しいコーヒーはどのようにして日本に届くのでしょうか。基本は

小さい畑で育てたチェリーを50%の農家が加工場へ運びます。あとの50%は家庭で加工されます。チェリーから果実を除去され乾燥された豆は輸出会社へ行き、生豆に加工され、船に乗って2ヶ月程した後、日本に到着します。そして焙煎された豆を挽いたものを一杯のコーヒーとして飲んでいただきます。

農家紹介 ③

今回はルワンダ東部ンゴマ郡のサチエファームを紹介いたします。サバンナが広がるアカゲラ国立公園に近いエリアに位置する果樹園の中のコーヒーウォッシングステーションです。2003年から操業を開始しました。周辺農家に品質向上のトレーニングを行ない、そのチェリーを買い取っています。また小規模ながら高い品質の自社農園コーヒーが主力製品です。代表のマリエル・MUNYU(世界女性コーヒー連盟)のルワンダ副部長をつとめており、女性の雇用促進を図っています。彼女のコーヒー加工場では全ての行程で8割以上女性を採用されています。ルワンダ国内でのコーヒーの販売を通じて、コーヒーの飲用文化を広める等、精力的かつ地元とともに発展する事を目指す企業です。

名前	サチエファーム
場所	東部ンゴマ郡
生産量	300T
標高	1450M-2000M
品種	アラビカ種ブルボン亜種
操業開始	2000年-
農家数	2400農家



整備された首都の幹線道路



ーに入るの
ツアーする
参加する
日本人の
お客様



に加工する
方法です。ルワンダはアフリカの中央の高地に位置し、ナイル川やコンゴ川等の大河の源となる山々が広がっています。そこから湧き出る豊富な水を使ってコーヒーを作るようになったのです。それ以来、ルワンダコーヒーの評価は国際市場で高まり始め、2008年には国際的な品評会であるカップオブエクセレンスが開かれるま



ルワンダ まめ知識

～TICAガアフリカで初開催！～
今年アフリカでTICAD(アフリカ開発会議)がケニアで行なわれます。ルワンダコーヒーも日本輸出に向けて準備中!!

■編集者情報：セパール(Coffee Exporters and Processors Association of Rwanda) ルワンダの輸出業者とコーヒー加工業者の組合。肥料の分配や国内外の展示会でのルワンダコーヒーの紹介等を事業として行なっている。来日経験のあるピエール氏が代表を務めています。
■連絡先：rwanada.coffee.japan@gmail.com ■URL：www.ceparwanda.org